

2018年4月24日

各位

会社名 住友理工株式会社
代表者名 社長 松井 徹
(コード:5191 東証・名証第1部)
問合せ先責任者 経理部長 有賀 雄一
(TEL. 052-571-0200)

通期連結業績予想値の修正に関するお知らせ

2017年10月30日に公表しました2018年3月期通期の連結業績予想値について修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2018年3月期連結業績予想数値の修正 (2017年4月1日~2018年3月31日)

	売上高	事業利益※	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	450,000	16,000	14,500	13,500	7,500	5,500	52.97
今回修正予想 (B)	460,000	12,500	12,000	11,000	5,500	3,500	33.71
増減額 (B-A)	10,000	△3,500	△2,500	△2,500	△2,000	△2,000	—
増減率 (%)	2.2	△21.9	△17.2	△18.5	△26.7	△36.4	—
(ご参考) 前期実績 (2017年3月期)	422,630	14,564	13,600	13,300	7,456	5,195	50.04

※事業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、持分法による損益を含めて算出しております。

2. 修正の理由

売上高につきましては、中国・アジア市場で自動車、インフラ分野向けの販売が好調だったことに加え、円安による為替換算影響もあり、前回予想を上回る見込みです。一方で事業利益は、北米・アジアでの新規品立上げコストの増大及び米国拠点の生産混乱により、前回予想を下回る見込みです。特に米国では、雇用ひっ迫の環境下で、生産規模の大きい車種向けの製造ラインの立ち上げが複数同時期に重なったため、人件費及び航空便による輸送コストなどが想定よりも増加しました。営業利益、税引前利益、当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益についても予想を下回る見込みであることから、連結業績予想を修正いたしました。

以上